

第3回 まちづくりミーティング

日時：令和元年9月20日（金）15：00～16：00

場所：京都府立勤労者福祉会館 2階 第3会議室

団体：福知山市視覚障害者協会

主な話し合いの内容

団体：先日の台風15号では関東地方が大きな影響を受けた際に、全壊や一部損壊などの件数が二転三転していた。災害時には正確な情報発信が必要だと思うが、市長はこの災害対応をどのように感じられたか？

市長：国や千葉県、自治体の情報を全て知っているわけではないので災害対応の問題点は言及できないが、停電により携帯電話などの情報発信の手段が失われたことは災害対応に大きな影響をもたらしたと思う。率先して住民に安心感を持ってもらえるような情報伝達が取れていなかったのかなと思う。

福知山市では今年度・来年度の2年間で防災行政無線を整備する。また、戸別受信機以外にスマホアプリも検討している。今回の台風15号による災害のような防災行政無線への情報発信ができない事態にも対応できる仕組み・システムづくりを進める必要がある。一定現地が落ち着いた段階で情報収集を行い福知山市で同じ事が起きないように防災行政無線のシステムをつくるよう担当課に指示しているところ。

団体：旧福知山市域には戸別受信機は配布されないのか？

市長：旧福知山市域では由良川沿川や自治会長、要配慮者宅などにしか戸別受信機は配っていない。また、旧3町ではシステムが異なっていて、有線放送、エリアメール、戸別受信機といったように統一されていない。旧福知山市域も含めて戸別受信機の対象をどう決めていくか検討しなければならない。

団体：10月1日から変更されるまちなか循環路線バスの時間とルートについて説明会があったが、検討の参考が平成29年のアンケートと聞いて、利用者の声が届いていないと感じた。市街地はたくさんバスが走ってまちづくりが進んでいるが、周辺部のまちづくりも進めてほしい。

市長：公共交通は難しい問題だが取り組んでいかないといけない。三和町では平成29年から、個人・ボランティアが有償で三和支所近辺まで運んでいただく有償運送を実施されている。また、下豊富地区では大門や和久寺などはバスが無いので今年度から乗合タクシーを始めさせていただく。川北では昼間のバスがなく乗合タクシーの実証実験をやって昼間走らせたらどのくらい乗るのかを試した。市街地だけを考えているのではなく、周辺部の方が大変なので、実証実験をして、一定の実験結果が出れば他の地域でもやっていけると思う。

いずれも、行政が一方的に決めてできるものではなく、地域のみなさまの協力を得ながら公共交通自体が無い地域にも広げていきたい。

団体：ニュースでも大きな事故が取り上げられているが交差点の事故が多いので横断歩道などで広く開いているところにポールを設置してほしい。例えば国道9号線のAVIX近辺や、東堀交差点など。

市長：道路は国・府・市などそれぞれが管理しているが、協力して対策していかないといけないところもある。全ての交差点を一気にとはいかないが、市の方でもやれるところはしっかりやっていきたいと思っている。

団体：私は市内で開催されるいろいろな行事に参加したいと思っているが、俺我バスは朝昼晩の一日3便しかなく不便な思いをしている。デマンドタクシーは協力できる体制が整っていなくて運行できないので、別の方法としてもっと利用券をもらうとかできないか。

市長：三岳や中六人部でも自主運行バスがあるが、赤字は京都府と市で補助金を出している。車両の購入は地元の協議会が資金貯めて購入されている。協議会も運行回数や乗車人数などで便を考えていると思うが、市から指示はできないが、そういった声があったことは伝えさせていただく。

団体：健康体操の場面で、私は弱視のため、信号などの光が花火のように見えて、自分でもどこ見ているか分からなくなるときがあるので、はじめに「私は視覚障害者です」と言ったのに、その後「どこ見ているの?」と言われたことがあった。こんな失礼なことを言う市職員がいるのかとがっかりした。もう一つ、市内の店に白杖を持って行ったら店員さんに「その杖は何のために持っているの?」と言われ、惇明小学校の子にも「あの人、何のために杖を持っているの?」と言われた。市職員や市民にもっと知ってもらいたい。

市長：それは大変失礼な話で、申し訳ありません。あいサポート運動を実施している中でそういった事象があったということは本当に失礼な話でお許しいただきたい。あいサポーターや認知症サポーター、オレンジリボンはいずれもシンボルカラーがオレンジ色。まち全体でいろいろな立場の人たちにやさしくしていこう、ということで今年からオレンジのまちづくりを進めていく。

団体：選挙の投票所について、住んでいる地域と違う地域で投票しなければならなくなった人たちの移動手段の確保してほしい。これまで地域を支えてくださった方やまじめに投票してきた方が投票できなくなっている。

市長：私が何も知らないということではないが、選挙に関しては市長に権限が無い。選挙管理委員会が制度も含めて考えているので、お声があったことは伝えさせていただく。

団体：大学もできていろいろな人が福知山に来るようになったが、観光案内の看板は設置してあるのか?また、大学にはバス停がないが設置しないのか?

市長：福知山城、三段池公園、福知山公立大学などを案内する看板を検討しており、既に歩行者向けの観光案内看板は設置させていただいている。大学のバス停は大学周辺の道路を整備するのでその中で考えていきたい。

団体：広報ふくちやまを配布する労力と印刷費用がもったいないと思う。紙媒体は必要ない、という人には配布せずにLINEで見ってもらうなど工夫してはどうか？

市長：広報ふくちやまを見ている人の中には紙媒体でないと困る方もいると思う。HPには広報ふくちやまへのリンクが貼ってあるので紙媒体でなくても見られるようにはなっている。配布方法について、地域の中で区別する労力というのも大きく自治会長の負担にもなると思う。

団体：今年の福知山マラソンにあわせ友人が来てくれるが、胸を張って、これが福知山のお土産です、と言えるものが無い。

市長：大河ドラマの期間中はお城の下にお土産を販売する場所ができる。観光協会のところも含めて福知山のお土産を置いていく。

団体：福知山の花火大会は今後どのような方針なのか？

市長：花火大会は行政主導によるものでもなく、実行委員会があって市が共催していたものであり、その実行委員会は被害者の救済が済んだということで、平成31年3月に解散した。一方で、未だに後遺症に苦しんでおられる方がおられる。多くの市民のみなさまから今日まで要望が無いことも事実であり、現時点では再開を検討する段階にない。

